CAT®



|                              | 950M Z     | 962M Z                 |  |
|------------------------------|------------|------------------------|--|
| エンジンモデル                      | Cat® C7.1  | Cat C7.1               |  |
| 最大定格出力(グロス) – SAE J1995:2014 | 187 kW     | 202 kW                 |  |
| 最大定格出力(ネット) – SAE J1349:2011 | 171 kW     | 186 kW                 |  |
| バケット容量                       | 2.5~9.2 m³ | 2.5~9.2 m <sup>3</sup> |  |
| 運転質量                         | 18,211 kg* | 19,211 kg**            |  |

<sup>\*</sup>ボルトオンカッティングエッジを装着した3.4 m³ゼネラルパーパスバケットの場合。\*\*ボルトオンカッティングエッジを装着した3.6 m³ゼネラルパーパスバケットの場合。

#### 高い信頼性、生産性、燃料効率

- ・業界をリードするKシリーズ比で燃料効率が最大10% アップ\*
- ・Hシリーズ比では燃料効率が最大25%アップ\*
- ・**Zバーリンケージ**が視界を良好に確保して、性能と燃料 効率が向上
- ・パフォーマンスシリーズのバケットは積込みが容易で、 積荷保持力が向上
- Cat Fusion™カプラシステムとワークツールには多彩なラインアップを取り揃え、幅広いサイズのホイールローダにも同じワークツールを使用可能
- **Catエンジン**は米国EPA Tier 4 Final、EUステージV、韓 国Tier 4 Final、日本オフロード法2014年基準の各排出 ガス基準に適合
- ・先進のパワーシフトトランスミッションにはロックアップ クラッチトルクコンバータとロックツーロックシフトを 標準搭載。登坂路においても滑らかなシフトで、優れ た加速とスピードを実現
- ・次世代アクスルにはフロントにディスク式の手動ディファレンシャルロックを標準装備。路面の条件にかかわらず最適なトラクションを発揮し、生産性を向上
- ・次世代のロードセンシング油圧システムが車両の機能 を最適にコントロール

#### 容易なオペレーション

- ・比類ない快適性と効率的な作業を実現する**クラス最高** の運転席
- ・**先進のCatテクノロジ**によるモニタリングと管理を通じて、現場作業の効率を向上

#### サービスアクセス性

・一体型設計のフード、集中型のサービスセンタ、キャブフロントウィンドウ清掃用プラットフォーム、安全帯固定用ハンドレールは前モデルからそのまま受け継ぎ、クラス最高の整備アクセスを実現

#### 目次

| 尚い信粮性       | 4  |
|-------------|----|
| 高い耐久性       | 5  |
| 高い生産性       | 6  |
| 低燃費         | 7  |
| 容易な操作       | 8  |
| 優れた汎用性      | 10 |
| さまざまなテクノロジ  | 12 |
| 保有経費        | 14 |
| オペレーティングコスト | 15 |
| 高い整備性       | 16 |
| サスティナビリティ   |    |
| カスタマサポート    | 17 |
| 仕様          |    |
| 標準装備品       | 31 |
| オプション装備品    | 32 |
| メモ          | 33 |



\*燃料効率は、消費燃料量当たりに運搬できる材料の質量で測定します。効率改善の平均は、平均複合サイクルと標準仕様の車両で試験、分析し、エコノミーモード適用の有無による同等モデル間のばらつきを加味しています。車両仕様構成、オペレータの操作技術、車両の用途、天候などの要因により、結果が変わります。



950M Zおよび962M Zホイールローダには、オフロード法2014年基準適合のエンジンが搭載されています。このエンジンには、定評ある電子コンポーネント、燃料コンポーネント、エアコンポーネントおよび後処理コンポーネントが組み合わされて装備されています。定評ある技術を体系的かつ戦略的に適用することで、生産性および燃料効率に対するお客様の高い期待に応えられるようにしています。システム統合を深めることで、車両の性能は維持したまま排出ガス削減、性能向上、燃費向上を実現し、シームレスな操作が可能になります。950M Zと962M Zのどちらも、信頼性、耐久性、汎用性を備え、お客様のニーズにより的確に対応できる車両です。

# 高い信頼性

実績あるコンポーネントとテクノロジ



オフロード法2014年基準適合のすべてのエンジンには、高い実績を有する電子コンポーネント、燃料コンポーネント、エアコンポーネントおよび後処理コンポーネントが組み合わされて装備されています。

# よりパワフルで信頼性の高いエンジン用電子機器

オフロード法2014年基準適合のCatエンジンに採用される電子機器は、これまでにないパワーと堅牢性を発揮します。増強された機能や接続部の共通化により、品質と信頼性を向上させ、お客様の満足度を高めています。オーバーフォームワイヤリングハーネスを使用しているため、どんなに過酷な用途においても高い信頼性が得られます。

#### 油圧システム

950M Zおよび962M Z油圧システムにはモノブロック設計のメインバルブが採用され、ライドコントロールセクションが統合されています。モノブロック設計は重量の低減につながり、漏れの可能性があるポイントが40%削減されるので、M Zシリーズ全モデルに共通で採用されています。工場または現場で、2つ目のリモートバルブを取り付け、第3バルブおよび第4バルブ油圧機能を追加することも簡単にできます。

#### 車両の管理

CatテクノロジおよびCatディーラサービスにより、感覚に頼らず機械管理を行うことができます。Product Link™(プロダクトリンク)およびオンラインVisionLink®(ビジョンリンク)アプリケーションを使ってリアルタイムで車両データをモニタリングし、車両状態を管理できます。最寄りのCatディーラが専門的なアドバイスとS・O・SSMサービスを提供し、お客様の車両の信頼性と効率を維持します。

#### 寒冷時始動パッケージ

オプションの寒冷時始動パッケージにより、極端な低温や高地でも信頼性のある始動ができます。



#### フレーム

ロボット溶接の2ピース構造フレーム設計で、強度と剛性の高い構造が実現され、貫通、負荷、ねじれによる力を吸収します。

フロントフレームとリアフレームをつなぐM Zシリーズのアーティキュレートヒッチシステムは、ベアリングの許容荷重が向上しました。

#### アクスル

M Zシリーズのアクスルは、過酷な用途に対応できるように設計されており、信頼性の高い性能と長寿命を発揮します。リアアクスルは±13°まで揺動できるため、4輪すべてが常に接地し、起伏の激しい地形でも優れた安定性とトラクションを実現します。

# 高い生産性

# 状況を判断して作業し、高い生産性を実現



用途に合わせてきめ細かく調整された適切なテクノロジによって、 以下が達成されました。

- さまざまな用途で**高性能を発揮**。
- 設計の共通化と簡素化を通じて信頼性が向上。
- 稼働時間の最大化とコスト削減をCatディーラネットワークが提供するワールドクラスのサポートにより実現。
- 排出ガスシステムの影響の最小化 操作を必要とせずにオペレータが明確に把握できる設計。
- •耐久性に優れた設計により、長いオーバーホール間隔を実現。
- メンテナンスコストを最低限に抑えながら、同等の優れたパワーと応答性を達成して、燃費の向上を実現。

#### 油圧システム

ライドコントロールシステムには2つのアキュムレータが装備されています。これにより、従来よりも幅広い積載質量に対応でき、乗り心地が改善され、生産性とオペレータの効率が向上しています。

次世代の作業装置ポンプは、オペレータが求める油圧負荷と車両性 能とのバランスを常に自動的に取ります。エンジンレスポンスが向上 し、高地でも性能が変わりません。

#### トランスミッション

950M Zと962M Zのパワートレインには、5速トランスミッションが採用され、ロックアップクラッチトルクコンバータが標準装備されています。エンジンパワーおよび油圧システムと最適に組み合わされたこれらのトルクコンバータによって、性能と燃料効率が向上しています。頑丈なトランスミッションには、マルチグレードオイルを使うスプリットフロー油圧システムが採用され、これも燃費向上に貢献しています。

#### アクスル

走行中にも作動可能なディスク式ディファレンシャルロックにより、トラクションが改善され、生産性が向上します。このモデルには、キャブ床上のスイッチによりオペレータが操作するフロントアクスルディファレンシャルロックが標準装備されています。オプションのオートフロント/リアアクスルディファレンシャルロックは、アクスル速度差を検知して自動で作動するため、オペレータの操作は必要ありません。このディスク式ディファレンシャルロックは、他のスリップ抑制システムと比較して、タイヤ摩耗を軽減し、オペレーティングコストをさらに削減します。

フロントアクスルのインプットシャフトに、外付け キャリパディスクパーキングブレーキが装備されて います。外付けのため、オイルでブレーキディスクを 作動する非効率な密閉湿式パーキングブレーキが 不要となり、オイル交換も不要なので、燃料とメンテ ナンスコストを削減できます。外付けキャリパパー キングブレーキは、点検整備時にアクセスしやすい 位置に配置されています。

# 低燃費

### オペレーティングコスト削減を目指した設計



#### エンジンと排出ガス

Cat C7.1エンジンは、最高の燃料効率と高出力密度を実現するよう設計されており、オフロード法2014年排出ガス基準に適合しています。このエンジンには、革新的なCat電子機器、フュエルインジェクションプロセス、吸排気管理システム、Cat選択式触媒還元による後処理ソリューション、燃料効率の高い再生システムが採用されています。Cat再生システムは、お客様の車両の作業サイクルを妨げることなく、ディーゼルパティキュレートフィルタからスートを自動的に除去します。

#### 効率の高いシステムとコンポーネント

革新的なシステムが、作動中の平均エンジン回転数を状況に応じて自動的に低く抑えることで、システム全体の熱負荷を低減するため、性能と燃料効率が大幅に向上します。

#### 革新的な融合による先進のシステム

エンジンと排出ガスシステム、パワートレイン、油圧システム、冷却系統を高次元で統合することにより、950Kおよび962K比で、平均して燃費が向上しました。

#### 生産性の高いエコノミーモード

生産性の高いエコノミーモードでは、機械のパワートレイン負荷に基づいてエンジントルクとスピードを自動的に制御し、エンジンスピードとトルクを最も効率の高い稼動範囲に調整します。その結果、燃料効率が改善され、性能が最大限に引き出されます。

#### 次世代の燃料システム

Catの噴射タイミングは、最適なタイミングでマイクロバーストを起こすことで燃料噴射プロセスを正確にコントロールします。これにより、非常にクリーンで高い燃料効率を実現しています。950M Zと962M Zでは、高圧コモンレール燃料システムにより、性能が大幅に向上し、スートの発生も少なくなっています。

#### Cat NO<sub>X</sub>リダクションシステム

Cat NO<sub>X</sub>リダクションシステムは、排気ガスの一部を冷却し、それを燃焼室へ送り込み、燃焼温度を下げてNO<sub>X</sub>の排出を低減します。

#### アフタートリートメントテクノロジ

最新の排出ガス基準を満たすために、選択式触媒還元 (SCR、Selective Catalytic Reduction) システムは尿素水 (DEF、Diesel Exhaust Fluid) を排気ガス中に噴射します。

# 容易な操作

安全、快適、効率的





950M Zおよび962M Zの設計においても、オペレータの効率改善が大きな目標でした。オペレータの安全を確保しながら、自信を持って機械をコントロールし、クリーンかつ快適で静かな操作環境を実現し、軽い力で直感的に操作できるコントロールを導入することなどにより、オペレータの疲労を軽減し、性能の向上を実現しています。

#### キャブへの乗降

電気系統サービスセンタに遠隔でドアを開けるスイッチが追加されました (オプション)。スイッチを操作するとドアが左右に大きく開き、オペレータ は一連の操作を安全に地上から実行できます。キャブに乗降するステップの 角度は15°に最適化され、梯子を昇るのではなく、階段を上がる感覚で乗降できます。グラブハンドルは、常に安全な3点支持を保てるよう、再配置されました。

#### ワイドな視界

キャブ内に入れば、ドアと圧延成形のROPS (Rollover Protective Structure、転倒時運転者保護構造) ポストによって密閉された空間になります。下部ガラスパネルが数インチ拡大され、車両左側の視界が改善されました。大型の凸面鏡が搭載され、後方の視界が改善されたほか、スポットミラーが組み込まれ、車両両側の近くまで視界が確保されます。

#### 騒音

ビスカスキャブマウントによってキャブが車両のフレームに取り付けられているため、オペレータに騒音と振動が伝わりにくくなりました。そのおかげでオペレータは疲れにくく、毎日の作業時間中持続的に、高い作業効率と生産性を保つことができます。

#### センターディスプレイ

センターディスプレイパネルには大型のテキストボックス、アナログゲージ5個、およびLED警告インジケータが装備されています。大型のテキストボックスには、車両の操作、各機能の作動状態、システムのトラブルシューティングおよびキャリブレーションなどの情報が文字で表示されます。5個の大型アナログゲージでは、主要システムが正常な作動範囲にあるかどうかが簡単に確認できます。



#### タッチスクリーンディスプレイ

多目的カラータッチスクリーンディスプレイでは、オペレータインターフェイスが大幅に簡便化され、機械コントロール、リアビジョンカメラのほか、フル統合されたCat Production Measurementシステムが装備されています。言語テキストによる直観的なナビゲーションによって、オペレータは文字通り指先で確実に車両の操作パラメータを設定し、車両の状態を監視できます。

#### コントロールパネル

まとめて配置されたLED内蔵のスイッチパネルは、湿気やほこりから保護されており、作業手袋を着用していても、高い信頼性で頻繁に利用する機能に楽にアクセスできます。各メンブレンスイッチにはISO記号が表示されており、年数が経過しても記号が摩耗しないようしっかりと成形されています。

M Zシリーズには各メンブレンスイッチの機能を説明する"ヘルプ"機能が搭載されています。

オペレータの効率を最優先に、コントロールパネルを合理化し、利用度の高い機械コントロールを手の届きやすい位置に配置しました。タッチスクリーンディスプレイでは、一部の追加機能のスイッチが再配置されたため、2つ目のスイッチパネルが不要になり、車両の操作がさらにシンプルになりました。





#### 従来型ステアリング

このモデルには従来型のステアリングが採用されており、ハンドメータリングユニットの油圧ステアリングシステムを軽い力で操作できます。ロードセンシングステアリングは、必要な場合にのみステアリングシステムを駆動します。



# 車速感応式フォースフィードバックシステム搭載EHジョイスティックステアリング(オプション)

業界をリードするシートマウントのEH (Electro-Hydraulic、電気油圧式) ジョイスティックステアリングシステムは、誰にでもすぐに操作でき、快適かつ正確にコントロールできるため、オペレータの腕の疲労が軽減されます。

#### 作業装置コントロール(EH)

シートマウントの作業装置シングルコントロールレバーは、作業機を正確にコントロールできるだけでなく、シートに連動して移動するため、最適なポジションで非常に快適に操作できます。キャブ内のプログラム可能なキックアウトと自動シリンダ緩衝機能を使うと、簡単にチルト、下降、リフトを設定でき、反復的なサイクルに最適です。



#### ライドコントロール

次世代ライドコントロールはショックアブソーバとして機能し、起伏の激しい路面でも 快適な乗り心地を実現し、オペレータの確実な操作、快適性、効率を向上して、優れた 積荷保持力を達成します。



#### Zバーリンケージ

Zバーリンケージは、パフォーマンスシリーズバケット、Fusionカプラ、およびFusionファミリのワークツールと共に開発されており、すべてのコンポーネントのコンビネーションにより最適な視界、性能および燃料効率が実現されます。油圧ホースと各構造物がオペレータの視線から外れた位置に配置され、視界を最適に保ちます。

#### ハイリフトリンケージ

オプションのハイリフトリンケージでは、ヒンジピン高が高くなり、バケットやフォームの種別に関係なく、さまざまな用途で簡単に積載できるようになります。

#### 除雪仕様パッケージ

950M Z除雪パッケージでは、熱線入りフロントウインドウが除雪時の視界を向上して、安全性を確保するとともに、専用のレインキャップがエアインレットへの雪の詰まりを防ぎます。回転灯レディやタコグラフメータレディを標準装備して、除雪作業の安全性がさらに高まります。



# 優れた汎用性

1台の車両で多くの作業に対応する Fusionクイックカプラと各種ワークツール

さまざまなワークツールやバケットスタイルで、お客様の作業に合わせて機械をカスタマイズできます。ワークツールは、ピンオン式またはクイックカプラ式をお選びいただけます。

#### パフォーマンスシリーズバケット

- 容易な積込み、低燃費、高生産性 パフォーマンスシリーズバケットは、システムベースのアプローチによって、バケットの形状と車両のリンケージ、質量、リフト能力、チルト能力をバランスさせています。オペレータには掘削時間の短縮と積荷保持力の向上というメリットがあります。これは、生産性と燃料効率の大幅な向上につながります。
- オペレーティングコストの低減 パフォーマンスシリーズバケットは、フロアの寸法を長くしているため、集積材の掘削が容易になります。視界も向上するため、オペレータはバケットが一杯になったことを確認できます。集積材の掘削時間が短縮されるため、燃料消費量が低下し、タイヤの寿命が延びます。独特のスピルガードがキャブとリンケージのコンポーネントをマテリアルのオーバフローから保護します。
- 生産性の向上 パフォーマンスシリーズバケットでは、フィルファクターが100 % ~115 %に向上します(車両の作業内容および材料の種類によって異なります)。バケットは、サイドプロファイルをカーブさせて、資材の保持力を最大限に高めています。この最適化された設計が、卓越した生産能力をもたらします。

### Fusionクイックカプラ

#### 進化した車両の性能

Fusionは、Caterpillarの特許取得済みホイールローダカプラシステムです。Fusionカプラシステムは、ピンオン式とほぼ同等の性能を達成しながら、クイックカプラシステムの柔軟性も完全に備えています。Fusionカプラは、後部のローダアーム付近に配置されており、オフセットを最小限に抑えて車両性能を高めます。

#### 性能の低下なし

Fusionは、カプラとツールをローダ側へ引き寄せることで、ワークツールと車両を一体化するように設計されています。その結果、重心が車両の中心方向へ移動します。これにより、他のカプラシステムを搭載した車両よりもリフト能力が高くなります。

#### 卓越した耐久性

高度なくさび機構により、タイトでガタつきのない結合を実現しています。この特許取得済みのロックアップシステムにより、あそびや摩耗を排除できるので、耐用年数が長くなります。

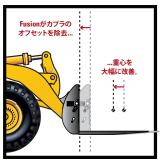
#### 視界の向上

オープンカプラフレーム設計により、オペレータのシートからの視界が明瞭になり、アタッチメントの確実な着脱がこれまで以上に容易になっています。

#### 共通インターフェイスがもたらす互換性

Fusionカプラシステムにより、1台の車両で幅広いワークツールを使用できるだけでなく、1つのワークツールをさまざまなサイズの車両で使用することができます。









# さまざまなテクノロジ

現場の作業の監視、管理、改善

Catテクノロジは、テクノロジとアフターサービスの活用により、現場の効率を向上させることができます。テクノロジを搭載した車両からのデータを活用することで、従来よりも車両や作業に関する多くの情報や見通しを得ることができます。

Catテクノロジは主に次の領域で改善を実現します。



**機械管理** – 車両の稼働時間を増やすことで、オペレーティングコストを削減します。



**生産性** – 生産をモニタリングして、現場の効率を管理します。



**安全性** - 現場での視認性を高め、作業員と機械の 安全を確保します。

#### Linkテクノロジ

Link (リンク) テクノロジにより、機械に無線接続し、事業経営に必要な重要情報にアクセスすることができます。Linkのデータにより、お使いの車両の作動状況に関する重要情報を入手できるため、事実に基づいた判断を適時に下し、現場の効率や生産性を向上させることができます。

#### **Product Link/VisionLink**

車両にProduct Linkを装着することで、憶測に頼らずに機械管理を実施することができます。オンラインのVisionLinkユーザ端末から、車両のある場所、時間、燃料消費量、アイドルタイム、イベントコードなどのタイムリーな情報に簡単にアクセスでき、車両の効果的な管理やオペレーティングコストの削減に役立てることができます。









#### Payloadテクノロジ

Payloadテクノロジは、マテリアルの積込み/運搬質量の正確な測定を可能にします。積載量情報はローダのオペレータにリアルタイムに表示されるので、生産性が改善し、過積載を減らすことができます。また、記録された積載量情報に基づいて、シフト当たりの資材運搬を把握することもできます。

• Cat Production Measurement (CPM) - Cat Production

Measurement (CPM) を使用すれば、オペレータは積載質量をキャブ内から確認して、積載作業を続けながら荷重を計量することができます。積荷の計量はリフトサイクル中にバケットを上げたときに行われるため、積込みサイクルを中断する必要がなく、積込み作業の効率が上がります。積載質量は一体型の多機能ディスプレイで確認できるため、オペレータは、バケットにどれだけの荷が入っているのか、トラックがいつ目標積載量に達するのかを、積込み場を離れる前に正確に把握できます。素早いフィードバックによりオペレータの安心感が高まり、作業効率が向上し、保有車両全体の能力を最大限に引き出すことができます。オプションのキャブ内プリンタを導入すると、トラック積載量の受取証を印刷できます。

オペレータは、ディスプレイから記録された質量やサイクルを 追跡できます。現場管理者は、VisionLink(ビジョンリンク)のサイトからワイヤレスでデータにアクセスして、生産性を測定し、効 率をモニタリングできます。

#### Detectテクノロジ

Detectテクノロジにより、オペレータは稼動中の車両周辺の状況を的確に把握できるうえ、万が一の場合には警告が発せられるため、付近の作業員やお客様の資産の安全を確保できます。

• リアビジョンカメラ - 標準装備のリアビジョンカメラによって、車両後方の視界が向上し、オペレータは安心して最大限の能力で作業できます。後進時には、後方の映像と積載量が多機能モニタに表示されます。オプションで2台目のディスプレイを追加すれば、現場の後方を常時表示しておくこともできます。

# 保有経費

実績のある最善の投資



#### カスタマサービス契約

カスタマサービス契約 (CSA、Customer Service Agreement) は、トン当たりのトータルコスト削減を支援するために、お客様とCatディーラの間で交わされる取決めです。CSAは柔軟な契約で、お客様の事業ニーズに合わせて作成できます。シンプルな予防メンテナンスキットから複雑なトータルコストパフォーマンス保証まで、さまざまな契約タイプを幅広く取り揃えております。CatディーラとCSAを締結することで、お客様は事業経営にベストを尽くすために、多くの時間をかけられるようになります。

#### モニタリングシステム

Catホイールローダへの投資を長年最適に維持するには、製品の 状態を監視することが重要です。

- Cat Product Link (プロダクトリンク) Cat Product Link (プロダクトリンク) により、建設機械の遠隔によるモニタリングが可能になり、全体的な保有車両管理の効率を高めることができます。 Product Linkは車両システムに完全に統合されています。 イベントや診断コード、稼動時間、燃料、アイドル時間やその他の詳細な情報は、セキュアなウェブベースのアプリケーション、 VisionLinkに送信されます。 VisionLink (ビジョンリンク) には、位置情報、稼働時間および非稼動時間、燃料レベルなどの情報をユーザおよびディーラへ伝達するパワフルなツールが装備されています。
- \$・0・\$サービス コンポーネントの寿命の管理に役立つうえ、 車両の休車時間の短縮や、生産性と効率の向上にもつながりま す。定期的な油水類のサンプリングにより、車両内部の状態を 監視できます。摩耗による不具合は予測可能で、容易に修理で きます。お客様のスケジュールに合わせたメンテナンスが可能 なため、稼動可能時間を増加し、故障が発生する前に保守修理 を柔軟に実施することができます。

#### 部品在庫

Caterpillar社は、お客様に合わせてカスタマイズした、他社の追随を許さない高いレベルのサービスを提供して、生産性と効率を高めます。Catディーラは、世界規模の部品ネットワークを活用して迅速に交換部品をお届けし、車両の休車時間を最小限に抑え、お客様のコスト削減に貢献します。

#### 再販価格

再販価格を高く維持するには機械の品質を保つことが重要です。Caterpillar社は、高品質の車両製造に実績があるばかりではなく、お使いの車両の信頼性と耐久性を維持できるよう、製品とディーラサポートを提供しています。



車両仕様構成、オペレータの操作技術、 現場への配置などにより、燃料消費は 30%も変わります。お客様の車両から 収集したデータによると、Catホイール ローダは業界で最も燃料効率のよい車 両の1つであることが分かります。優れた 燃費性能は最新技術から生まれます。

- ・エンジン、油圧システム、トランスミッションおよびライドコントロール 高次元でのシステム統合により、車両性能に影響を与えることなく、排出ガスの低減や生産性の向上、燃料消費量の削減を実現し、お客様やオペレータにとってシームレスなシステムとなっています。
- 手動/自動ディファレンシャルロックトラクションが増加し、他のトラクションエイドと比べタイヤスカッフィングが減少するため、オペレーティングコストがさらに低減されます。

- 外付けキャリパディスクパーキングブレーキ メンテナンス時に手の届きやすい位置に配置しています。
- ロックアップクラッチトルクコンバータとシフト方式 トルク伝達が途切れる時間を短縮することで、動力伝達効率が良くなり、燃料を節約できます。1~5速オートトランスミッションモードを使用すると、エンジン回転数を低く抑え、燃料消費を削減するとともに、車両性能を最大限に発揮させることができます。
- 車両仕様構成 車両の用途に基づき、適切なリンケージ、ガード、ワークツールおよびタイヤの種類をお選びください。タイヤには、ラジアルタイヤをお勧めします。空気圧を適正に維持してください。タイヤが重くなるほど、燃料消費量が増えます。
- パフォーマンスシリーズのバケット積込み時間の短縮とより優れた積荷保持力を実現し、最終的にサイクルタイムを短縮しながら生産性と燃料効率を向上させます。

#### 高い作業効率

- ・バケットへの積込み-1速ギヤで積込み、エンジンを低回転数に維持します。Caterpillar社が提供する多彩な機能を使い、より滑らかにバケットを持ち上げ、チルトさせます。もみ込み動作は行わないでください。リフトレバーはディテント位置に入れず、トランスミッションニュートラライザは使いません。反復サイクルでは、設定可能なキックアウトとシリンダソフトストップ機能を使用してください。
- トラックまたはホッパーへの積込み - 必要以上にワークツールを高く 上げないようにします。エンジンを 低回転数に保ち、安定した状態で 材料を排出します。
- アイドリング パーキングブレーキ をかけてエンジンアイドリング制御 システムを作動させて、燃料を節約 します。
- 現場への配置 積込み対象を正しい位置に配置します。短いサイクルでのトラックへの積込みでは、移動距離が機械全長の2倍を超えないようにします。現場への配置を最適化して、積込みと運搬作業の移動距離を短縮します。

# 高い整備性

# 容易なメンテナンス。容易な整備

#### エンジンへのアクセス

Cat傾斜付き一体型チルトアップエンジンフードは、業界トップのエンジンアクセス性を実現します。すべてのMシリーズホイールローダはすべて設計が一新され、整備時にクラス最高レベルの容易さで、エンジン、オイルレベル、クーラントのサイトゲージにアクセスできます。

#### 冷却系統

クーリングシステムには、清掃やメンテナンスのために簡単にアクセスできます。25.4 mm当たり9個のクーリングフィンと有孔グリルによって、システムに侵入する空中の異物のほとんどがクーラコアを通過します。作動油およびエアコンクーラコアをスイングアウトできるため、両サイドの清掃を容易に行うことができます。クーリングパッケージの左側にあるアクセスパネルを外すことで、エンジンクーラントおよびエアツーエアアフタクーラ(ATAAC、Air-to-Air After Cooler)の裏側にアクセスできます。オプションのバリアブルピッチファンは、必要に応じて定期的にファンの風向を反転させ、クーラコアを自動的に清掃します。

#### サービスセンタ

電気/油圧系統サービスセンタによって、一度に多くの機能に地上からアクセスできるので、オペレータやサービスメカニックの安全と利便性が改善されるとともに、整備時間の短縮にもつながります。

左プラットフォームの下方にある電気系統のサービスセンタには、メンテナンスフリーバッテリ、ヒューズリレーパネル、メインディスコネクトスイッチ、地上面から手の届くエンジンシャットダウンスイッチ、フードチルトスイッチ、ジャンプスタート用ソケットがまとめられています。

950M Zおよび962M Zの油圧システムコンポーネントは、フルフロー/連続オフラインフィルタで保護されています。作動油タンクのリターンラインフィルタが、タンクに戻るオイルをすべて濾過します。さらに、ケースドレーンスクリーンが保護を強化し、最終的にミクロンレベルの連続オフラインフィルタが微粒子を連続してろ過します。この多層設計により、作動油をクリーンな状態に保ち、油圧系統を汚染から保護します。







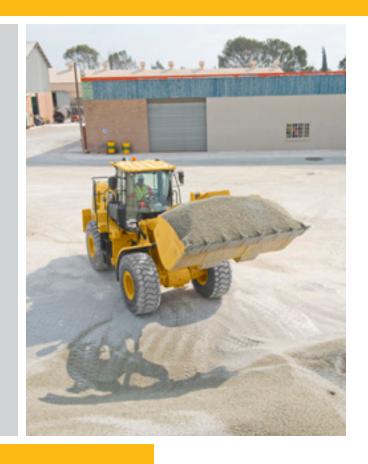


# サスティナビリティ

資源の節約

950M Zおよび962M Zは、お客様の事業計画を補完し、排出ガスを削減するとともに、天然資源の消費量を最小限にすることを目指しています。

- 燃料効率の向上 燃料消費量の低減は、排出ガスの削減に つながります。
- 機械は97 %リサイクル可能率(ISO 16714:2008)で製造されており、貴重な天然資源を保護して耐用年数経過時の機械の価値をさらに高めています。
- 視界の向上と騒音レベルの低減により、オペレータの作業効率が向上します。
- LINK (リンク) テクノロジにより車両と現場のデータを収集、 分析できるため、生産性を最大限に高め、コストを削減でき ます。
- 主要コンポーネントはリビルド可能であり、車両や主要コンポーネントを2回、さらには3回まで再生使用できるようにすることで、再生使用して廃棄物を抑制し、お客様のコストを削減します。



# カスタマサポート

Caterpillar社の徹底したカスタマサポートが もたらす「違い」を実感してください。



#### 高い評価を受けているCatディーラ サポート

- Catディーラがあらゆる場面でお手伝いいたします。新品または中古の車両の販売からレンタルやリビルドまで、Catディーラがお客様のビジネスニーズに最も適したソリューションを提案いたします。
- •他の追随を許さない世界規模の部品調達、 熟練した整備士、カスタマサポート契約に より、車両のアップタイムを最大限に増やし ます。
- お客様のニーズに合った融資オプションも多数ご用意しています。

| エンジン – 950M Z           |           |
|-------------------------|-----------|
| エンジンモデル                 | Cat C7.1  |
| 最大定格出力(グロス)(2,100 rpm時) |           |
| SAE J1995:2014          | 187 kW    |
| 最大定格出力(ネット)(2,100 rpm時) |           |
| SAE J1349:2011          | 171 kW    |
| ピークトルク(グロス) (1,300 rpm) |           |
| SAE J1995:2014          | 1,235 N·m |
| 最大正味トルク(1,300 rpm)      |           |
| SAE J1349:2011          | 1,163 N·m |
| 内径                      | 105 mm    |
| 行程                      | 135 mm    |
| 総行程容積(排気量)              | 7.01 L    |

- Catエンジン 米国EPA Tier 4 Final、EUステージV、韓国Tier 4 Final、日本オフロード法2014年基準の各排出ガス基準に適合しています。
- ・定格出力は、指定されている規格の基準条件に準じて、定められた回転数で測定された値です。
- 表示されている定格出力(ネット)は、エンジンにファン、オルタネータ、エアクリーナ、後処理装置が装備された状態で、フライホイール部で得られる出力です。
- 表示されている定格出力(グロス)は、ファン回転数が最大の状態で得られたものです。

#### バケット - 950M Z

バケット容量 2.5~9.2 m³

#### 質量 - 950M Z

運転質量

18,211 kg

質量は、ブリヂストン23.5R25 VJT L3ラジアルタイヤ、油水類満タン、オペレータ乗車、標準カウンタウエイト、Product Link(プロダクトリンク)、手動ディファレンシャルロック/オープンアクスル(フロント/リア)、パワートレインガード、セカンダリステアリング、騒音低減パッケージ、およびBOCE付き3.4 m³ゼネラルパーパスバケットを装備した車両仕様構成の場合のものです。

#### 運転仕様値 - 950M Z

| 静止転倒荷重 – 40°フルターン時 |           |  |
|--------------------|-----------|--|
| タイヤたわみあり           | 10,926 kg |  |
| タイヤたわみなし           | 11,624 kg |  |
| 掘削力                | 152 kN    |  |

ISO 14397-1:2007第1~6項に完全適合(計算と試験間に2%検証を義務付け)。

| エンジン – 962M Z           |           |
|-------------------------|-----------|
| エンジンモデル                 | Cat C7.1  |
| 最大定格出力(グロス)(2,100 rpm時) |           |
| SAE J1995:2014          | 202 kW    |
| 最大定格出力(ネット)(2,100 rpm時) |           |
| SAE J1349:2011          | 186 kW    |
| ピークトルク(グロス) (1,350 rpm) |           |
| SAE J1995:2014          | 1,249 N·m |
| 最大トルク(ネット) (1,350 rpm)  |           |
| SAE J1349:2011          | 1,172 N·m |
| 内径                      | 105 mm    |
| 行程                      | 135 mm    |
| 総行程容積(排気量)              | 7.01 L    |

- Catエンジン 米国EPA Tier 4 Final、EUステージV、韓国Tier 4 Final、日本オフロード法2014年基準の各排出ガス基準に適合しています。
- ・ 定格出力は、指定されている規格の基準条件にのっとり、定められた回転数で測定された値です。
- ・表示されている定格出力(ネット)は、エンジンにファン、オルタネータ、エアクリーナ、後処理装置が装備された状態で、フライホイール部で得られる出力です。
- ・表示されている定格出力(グロス)は、ファン回転数が最大の状態 で得られたものです。

#### バケット - 962 M Z

バケット容量 2.5~9.2 m³

#### 質量 - 962 M Z

運転質量

19,211 kg

質量は、ブリヂストン23.5R25 VJT L3ラジアルタイヤ、油水類満タン、オペレータ乗車、標準カウンタウエイト、Product Link(プロダクトリンク)、手動ディファレンシャルロック/オープンアクスル(フロント/リア)、パワートレインガード、セカンダリステアリング、騒音低減パッケージ、およびBOCE付き3.6 m³ゼネラルパーパスバケットを装備した車両仕様構成の場合のものです。

#### 運転仕様値 – 962 M Z

| 静止転倒荷重 – 40°フルターン時 |           |  |
|--------------------|-----------|--|
| タイヤたわみあり           | 11,700 kg |  |
| タイヤたわみなし           | 12,455 kg |  |
| 掘削力                | 146 kN    |  |

ISO 14397-1:2007第1~6項に完全適合(計算と試験間に2%検証を義務付け)。

| トランスミッション |           |
|-----------|-----------|
| 前進1速      | 6.9 km/h  |
| 前進2速      | 12 km/h   |
| 前進3速      | 19.3 km/h |
| 前進4速      | 25.7 km/h |
| 前進5速      | 38 km/h   |
| 後進1速      | 6.9 km/h  |
| 後進2速      | 12 km/h   |
| 後進3速      | 25 km/h   |

• 旋回半径が787 mmの標準L3タイヤが装着された標準車両で、バケットが空荷のときの最高走行速度。

| 油圧システム               |                                 |
|----------------------|---------------------------------|
| 作業装置ポンプタイプ           | 可変アキシャルピス<br>トン                 |
| 作業装置システム             | _                               |
| 最大ポンプ吐出量(2,340 rpm時) | 322 L/min                       |
| 最大動作圧力               | 27,900 kPa                      |
| オプションの第3/第4機能最大流量    | 240 L/min                       |
| オプションの第3/第4機能最大圧力    | 21,780 kPa                      |
| 定格積載質量での油圧サイクルタイム    |                                 |
| 運搬位置からの上げ            | 5.3秒                            |
| ダンプ(最大上げ時)           | 1.4秒                            |
| 下げ、空け、浮き下げ           | 2.8秒                            |
| 合計                   | 9.5秒                            |
| ブレーキ                 |                                 |
| ブレーキ                 | ブレーキは<br>ISO 3450:2011基準に<br>適合 |
| アクスル                 |                                 |
| フロント                 | 固定                              |
| リア                   | ±13°のオシレーション                    |
| シングルホイールの最大揺動量       | 496 mm                          |

#### キャブ

ROPS/FOPS ROPS/FOPSは ISO 3471:2008およびISO 3449:2005 Level II規格 に適合

#### 騒音

- 950M Zおよび962M Zは、国土交通省低騒音型建設機械に指定されています。
- 下記の音の数値は、特定の作業環境におけるものです。機械とオペレータの騒音レベルは、エンジンや冷却ファンの回転速度によって変わります。整備が適切になされていないキャブで運転している場合、長時間ドアやウィンドウが開いた状態、大きな騒音が発生する環境で運転する場合は、聴覚保護具が必要になることがあります。

| オペレータ音圧レベル (ISO 6396:2008) | 69 dB (A) *  |
|----------------------------|--------------|
| 外部音響パワーレベル(ISO 6395:2008)  | 104 dB (A) * |
| 外部音圧レベル (SAE J88:2013)     | 75 dB (A) ** |

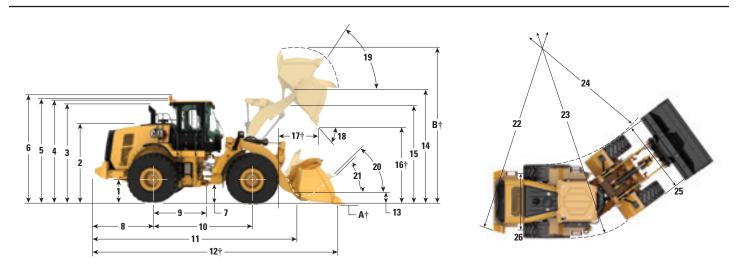
- \*標準車両仕様構成で、冷却ファン速度を最大値の70%に設定して規定の手順に従って測定した値です。
- \*\*標準車両仕様構成で、規定の手順に従って測定した値です。この 測定は、冷却ファン速度が最大値に設定された状態で車両を2速 で前進させ、15 m離れた場所から実施しました。

| 交換容量                             |       |
|----------------------------------|-------|
| 燃料タンク                            | 275 L |
| 尿素水タンク*                          | 16 L  |
| 冷却系統                             | 59 L  |
| クランクケース                          | 22 L  |
| トランスミッション                        | 43 L  |
| ディファレンシャルおよびファイナルドラ<br>イブ - フロント | 43 L  |
| ディファレンシャルおよびファイナルドラ<br>イブ - リア   | 43 L  |
| 作動油タンク                           | 125 L |

\*ISO 22241-1:2006に規定されている要件を満たしている必要があります。

#### 950M Zの寸法

寸法はすべて概算値です。



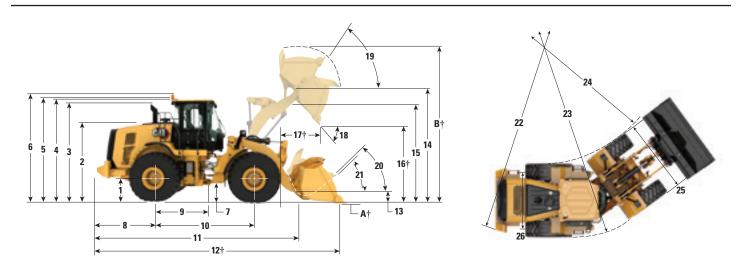
|  | 標準リフト    | ハイリフト    |
|--|----------|----------|
| 1 アクスル中心線までの高さ                           | 747 mm   | 747 mm   |
| 2 全高(フード最上部)                             | 2,697 mm | 2,697 mm |
| 3 全高(マフラー上端)                             | 3,414 mm | 3,414 mm |
| 4 ROPS頂部までの高さ                            | 3,445 mm | 3,445 mm |
| 5 Product Link (プロダクトリンク)アンテナ最上部までの高さ    | 3,653 mm | 3,653 mm |
| 6 黄色回転灯最上部までの高さ                          | 3,747 mm | 3,747 mm |
| 7 最低地上高                                  | 368 mm   | 368 mm   |
| 8 リアアクスルの中心線からカウンタウエイトの端まで               | 1,905 mm | 2,055 mm |
| 9 リアアクスルの中心線からヒッチまで                      | 1,675 mm | 1,675 mm |
| 10 ホイールベース                               | 3,350 mm | 3,350 mm |
| 11 全長(バケットなし)                            | 6,938 mm | 7,439 mm |
| <b>12</b> 輸送時長さ(バケット地上時)*†               | 8,069 mm | 8,721 mm |
| 13 ヒンジピン高さ(運搬時高さ)                        | 663 mm   | 765 mm   |
| 14 ヒンジピン高さ(最大リフト時)                       | 3,995 mm | 4,490 mm |
| 15 リフトアームクリアランス (最大リフト時)                 | 3,410 mm | 3,794 mm |
| <b>16</b> ダンピングクリアランス(最大リフトおよび45°ダンプ時)*† | 2,856 mm | 3,351 mm |
| 17 ダンピングリーチ(最大リフトおよび45°ダンプ時)*†           | 1,319 mm | 1,387 mm |
| 18 ダンプ角度(最大リフトおよびダンプ時(停止時))*             | 53°      | 50°      |
| 19 ラックバック角度(最大リフト時)*                     | 60°      | 66°      |
| 20 ラックバック角度(運搬姿勢時高さ)*                    | 49°      | 54°      |
| 21 ラックバック角度(地上時)*                        | 41°      | 45°      |
| 22 最小旋回半径(カウンタウエイト端)                     | 6,021 mm | 6,028 mm |
| 23 最小旋回半径(最外輪外側)                         | 6,051 mm | 6,051 mm |
| 24 最小旋回半径(内輪内側)                          | 3,154 mm | 3,154 mm |
| 25 車両全幅(積荷なし)                            | 2,814 mm | 2,814 mm |
| 車両全幅(積載時)                                | 2,822 mm | 2,822 mm |
| 26 トレッド幅                                 | 2,140 mm | 2,140 mm |

<sup>\*</sup>BOCEを装備した3.4 m<sup>3</sup>ゼネラルパーパスピンオン式バケット装着の場合(その他のバケットについては運転仕様値をご覧ください)。 †寸法は運転仕様値のチャートに一覧で掲載しています。

高さおよびタイヤに関連するすべての寸法は、ブリヂストン23.5R25 VJT L3ラジアルタイヤを装着した場合の寸法です(その他のタイヤについては、タイヤオプションチャートを参照してください)。"車両全幅"は、タイヤ膨張分を含むタイヤ膨らみ幅の寸法です。

#### 962M Zの寸法

寸法はすべて概算値です。



| 744 mm  | 747 mm  | アクスル中心線までの高さ  |
|---|---|---|
| 2,691 mm  | 2,694 mm  | 全高(フード最上部)  |
| 3,408 mm  | 3,411 mm  | 全高(マフラー上端)  |
| 3,440 mm  | 3,443 mm  | ROPS頂部までの高さ   |
| 3,650 mm  | 3,653 mm  | Product Link (プロダクトリンク) アンテナ最上部までの高さ  |
| 3,744 mm  | 3,747 mm  | 黄色回転灯最上部までの高さ   |
| 362 mm  | 365 mm  | 最低地上高   |
| 2,055 mm  | 2,055 mm  | リアアクスルの中心線からカウンタウエイトの端まで  |
| 1,675 mm  | 1,675 mm  | リアアクスルの中心線からヒッチまで   |
| 3,350 mm  | 3,350 mm  | ホイールベース   |
| 7,411 mm  | 7,037 mm  | 全長(バケットなし)  |
| 8,881 mm  | 8,396 mm  | 輸送時長さ(バケット地上時)*†  |
| 762 mm  | 642 mm  | ヒンジピン高さ(運搬時高さ)  |
| 4,487 mm  | 4,182 mm  | ヒンジピン高さ(最大リフト時)   |
| 3,791 mm  | 3,624 mm  | リフトアームクリアランス(最大リフト時)  |
| 3,312 mm  | 3,007 mm  | ダンピングクリアランス(最大リフトおよび45°ダンプ時)*†  |
| 1,416 mm  | 1,299 mm  | ダンピングリーチ(最大リフトおよび45°ダンプ時)*†   |
| 49°   | 52°   | ダンプ角度(最大リフトおよびダンプ時(停止時))*   |
| 66°   | 60°   | ラックバック角度(最大リフト時)*   |
| 54°   | 49°   | ラックバック角度(運搬姿勢時高さ)*  |
| 45°   | 45°   | ラックバック角度(地上時)*  |
| 6,028 mm  | 6,028 mm  | 最小旋回半径(カウンタウエイト端)   |
| 6,051 mm  | 6,051 mm  | 最小旋回半径(最外輪外側)   |
| 3,154 mm  | 3,154 mm  | 最小旋回半径(内輪内側)  |
| 2,819 mm  | 2,819 mm  | 車両全幅(積荷なし)  |
| 2,822 mm  | 2,822 mm  | 車両全幅(積載時)   |
| 2,140 mm  | 2,140 mm  | トレッド幅   |
| 8,881 mm 762 mm 4,487 mm 3,791 mm 3,312 mm 1,416 mm 49° 66° 54° 45° 6,028 mm 6,051 mm 3,154 mm 2,819 mm | 8,396 mm 642 mm 4,182 mm 3,624 mm 3,007 mm 1,299 mm 52° 60° 49° 45° 6,028 mm 6,051 mm 3,154 mm 2,819 mm | 輸送時長さ(バケット地上時)*† ヒンジピン高さ(運搬時高さ) ヒンジピン高さ(最大リフト時) リフトアームクリアランス(最大リフト時) ダンピングクリアランス(最大リフトおよび45°ダンプ時)*† ダンピングリーチ(最大リフトおよび45°ダンプ時)*† ダンプ角度(最大リフトおよびダンプ時(停止時))* ラックバック角度(最大リフト時)* ラックバック角度(運搬姿勢時高さ)* ラックバック角度(地上時)* 最小旋回半径(カウンタウエイト端) 最小旋回半径(肉輪内側) 車両全幅(積荷なし) 車両全幅(積載時) |

<sup>\*</sup>BOCEを装備した3.6 m³ゼネラルパーパスピンオンバケット装着の場合(その他のバケットについては運転仕様値をご覧ください)。 †寸法は運転仕様値のチャートに一覧で掲載しています。

高さおよびタイヤに関連するすべての寸法は、ブリヂストン23.5R25 VJT L3ラジアルタイヤを装着した場合の寸法です(その他のタイヤについては、タイヤオプションチャートを参照してください)。"車両全幅"は、タイヤ膨張分を含むタイヤ膨らみ幅の寸法です。

#### 950M Zのタイヤオプション

| タイヤブランド                 | ミシュラン    | ブリヂストン   | ブリヂストン   | ブリヂストン   | ミシュラン    |
|-------------------------|----------|----------|----------|----------|----------|
| タイヤサイズ                  | 23.5R25  | 23.5R25  | 23.5-25  | 23.5R25  | 23.5R25  |
| トレッドタイプ                 | L-3      | L-3      | L-3      | L-5      | L-5      |
| トレッドパターン                | XHA2     | VJT      | VL2      | VSDL     | XLD D2   |
| 車両全幅 – 最大(積荷なし)*        | 2,814 mm | 2,798 mm | 2,769 mm | 2,784 mm | 2,817 mm |
| 車両全幅 – 最大(積荷あり)*        | 2,822 mm | 2,831 mm | 2,782 mm | 2,802 mm | 2,833 mm |
| 垂直方向寸法の変化(フロントおよびリアの平均) | 0 mm     | −6 mm    | 14 mm    | 53 mm    | 28 mm    |
| 水平リーチの変化                | 0 mm     | 6 mm     | 3 mm     | −30 mm   | −25 mm   |
| 最小旋回半径の変化(最外輪外側)        | 0 mm     | 9 mm     | −40 mm   | −20 mm   | 5 mm     |
| 最小旋回半径の変化(内輪内側)         | 0 mm     | −9 mm    | 40 mm    | 20 mm    | −5 mm    |
| 運転質量の変化(バラストなし)         | 0 kg     | 168 kg   | -100 kg  | 868 kg   | 668 kg   |

<sup>\*</sup>タイヤ膨らみ幅(タイヤ膨張分含む)。

#### 950M Z仕様値の変化

| タイヤブランド                | ミシュラン   | ブリヂストン  | ブリヂストン  | ブリヂストン  | ミシュラン   |
|------------------------|---------|---------|---------|---------|---------|
| タイヤサイズ                 | 23.5R25 | 23.5R25 | 23.5-25 | 23.5R25 | 23.5R25 |
| トレッドタイプ                | L-3     | L-3     | L-3     | L-5     | L-5     |
| トレッドパターン               | XHA2    | VJT     | VL2     | VSDL    | XLD D2  |
| 静止転倒荷重の変化 – 直進時        | 0 kg    | 112 kg  | -67 kg  | 579 kg  | 446 kg  |
| 静止転倒荷重の変化 – アーティキュレート時 | 0 kg    | 98 kg   | -58 kg  | 505 kg  | 389 kg  |

#### 962M Zのタイヤオプション

| タイヤブランド                 | ミシュラン    | ブリヂストン   | ブリヂストン   | ブリヂストン   | ミシュラン    |
|-------------------------|----------|----------|----------|----------|----------|
| タイヤサイズ                  | 23.5R25  | 23.5R25  | 23.5-25  | 23.5R25  | 23.5R25  |
| トレッドタイプ                 | L-3      | L-3      | L-3      | L-5      | L-5      |
| トレッドパターン                | XHA2     | VJT      | VL2      | VSDL     | XLD D2   |
| 車両全幅 – 最大(積荷なし)*        | 2,821 mm | 2,809 mm | 2,771 mm | 2,788 mm | 2,825 mm |
| 車両全幅 – 最大(積荷あり)*        | 2,824 mm | 2,832 mm | 2,784 mm | 2,803 mm | 2,835 mm |
| 垂直方向寸法の変化(フロントおよびリアの平均) | 0 mm     | −6 mm    | 16 mm    | 55 mm    | 28 mm    |
| 水平リーチの変化                | 0 mm     | 6 mm     | 3 mm     | −30 mm   | −25 mm   |
| 最小旋回半径の変化(最外輪外側)        | 0 mm     | 9 mm     | −40 mm   | −21 mm   | 11 mm    |
| 最小旋回半径の変化(内輪内側)         | 0 mm     | −9 mm    | 40 mm    | 21 mm    | −11 mm   |
| 運転質量の変化(バラストなし)         | 0 kg     | 168 kg   | -100 kg  | 868 kg   | 668 kg   |

<sup>\*</sup>タイヤ膨らみ幅(タイヤ膨張分含む)。

#### 962M Z仕様値の変化

| タイヤブランド                | ミシュラン   | ブリヂストン  | ブリヂストン  | ブリヂストン  | ミシュラン   |
|------------------------|---------|---------|---------|---------|---------|
| タイヤサイズ                 | 23.5R25 | 23.5R25 | 23.5-25 | 23.5R25 | 23.5R25 |
| トレッドタイプ                | L-3     | L-3     | L-3     | L-5     | L-5     |
| トレッドパターン               | XHA2    | VJT     | VL2     | VSDL    | XLD D2  |
| 静止転倒荷重の変化 – 直進時        | 0 kg    | 106 kg  | −63 kg  | 549 kg  | 446 kg  |
| 静止転倒荷重の変化 – アーティキュレート時 | 0 kg    | 93 kg   | –55 kg  | 479 kg  | 389 kg  |

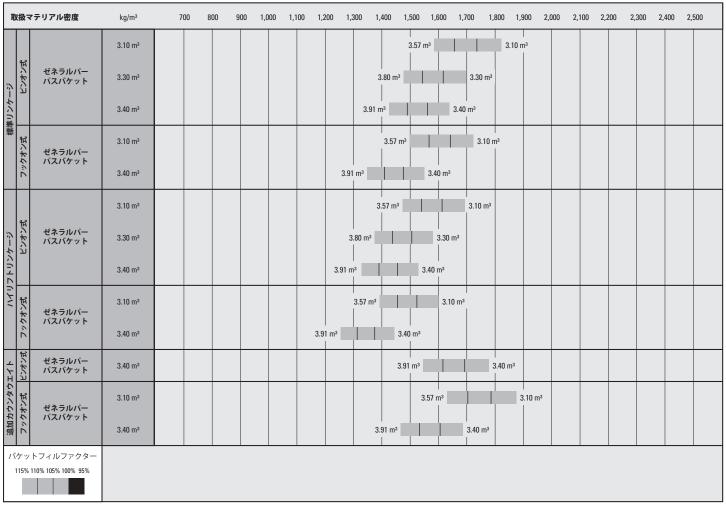
#### 950M Zのバケットフィルファクターとセレクションチャート

バケットのサイズは、材料密度と想定されるフィルファクターに基づいて選択する必要があります。Catパフォーマンスシリーズのバケットでは、長いフロア、広いバケット開口部、拡大された荷の保持角度、丸みをつけたサイドボード、一体型のスピルガードが特長で、従来製品またはCat以外のバケットよりもフィルファクターが大幅に改善されています。そのため、このバケットが実際に積込できる容量は、定格容量を上回ることがあります。

| ルーズマテリアル |          | 取扱マテリアル密度               | フィルファクター(%)* |
|----------|----------|-------------------------|--------------|
| 土/粘土     |          | 1,500∼1,700 kg/m³       | 115          |
| 砂および砂利   |          | 1,500∼1,700 kg/m³       | 115          |
| アグリゲート:  | 25~76 mm | 1,600∼1,700 kg/m³       | 110          |
|          | 19 mm以下  | 1,800 kg/m³             | 105          |
| <br>岩石:  | 76 mm以上  | 1,600 kg/m <sup>3</sup> | 100          |

<sup>\*</sup>ISO定格容量に対する比率。

注記: 達成できるフィルファクターは、材料が洗浄されているかどうかによっても異なります。



注記: すべてのバケットにボルトオンエッジが付いています。

#### 950M Zの運転仕様値(バケット装着時)

| リンケージ                                     |    | 槓                      | 標準リンケージ       |        |                        | 標準リンケージ                |               |        | ハイリフト<br>リンケージ<br>の変更** |
|---|----|------------------------|---------------|--------|------------------------|------------------------|---------------|--------|-------------------------|
| バケットタイプ                                   |    | ゼネラル                   | パーパス – し      | ピンオン   |                        | ゼネラルパーパス – ピンオン        |               |        |                         |
| エッジタイプ                                    |    | ボルトオン<br>カッティン<br>グエッジ | ツースとセ<br>グメント | チップ    | ボルトオン<br>カッティン<br>グエッジ | ボルトオン<br>カッティン<br>グエッジ | ツースとセ<br>グメント | チップ    | ボルトオン<br>カッティン<br>グエッジ  |
| 容量 – 定格                                   | m³ | 3.10                   | 3.10          | 2.90   | _                      | 3.30                   | 3.30          | 3.10   | _                       |
| 容量 – 110%                                 | m³ | 3.41                   | 3.41          | 3.19   | _                      | 3.63                   | 3.63          | 3.41   |                         |
| 幅   | mm | 2,927                  | 2,994         | 2,994  | _                      | 2,927                  | 2,994         | 2,994  |                         |
| 16† ダンピングクリアランス<br>(最大リフトおよび45°ダンプ時)      | mm | 2,856                  | 2,738         | 2,738  | 495                    | 2,817                  | 2,699         | 2,699  | 495                     |
| <b>17</b> † ダンピングリーチ<br>(最大リフトおよび45°ダンプ時) | mm | 1,319                  | 1,430         | 1,430  | 68                     | 1,349                  | 1,459         | 1,459  | 67                      |
| リーチ(リフトアームが水平で<br>バケットが同じ高さにあるとき)         | mm | 2,627                  | 2,788         | 2,788  | 406                    | 2,677                  | 2,838         | 2,838  | 406                     |
| A† 掘削深さ                                   | mm | 89                     | 89            | 59     | 22                     | 89                     | 89            | 59     | 22                      |
| 12† 全長                                    | mm | 8,069                  | 8,243         | 8,243  | 652                    | 8,119                  | 8,293         | 8,293  | 652                     |
| B† 全高(バケット最大リフト時)                         | mm | 5,325                  | 5,325         | 5,325  | 496                    | 5,500                  | 5,500         | 5,500  | 495                     |
| 最小旋回半径<br>(バケットを運搬姿勢にしたとき)                | mm | 6,678                  | 6,760         | 6,760  | 195                    | 6,692                  | 6,774         | 6,774  | 195                     |
| 静止転倒荷重(直進時)(ISO)*                         | kg | 12,621                 | 12,481        | 12,746 | -777                   | 12,525                 | 12,384        | 12,643 | -742                    |
| 静止転倒荷重(直進時)<br>(たわみなし))*                  | kg | 13,314                 | 13,173        | 13,443 | -855                   | 13,220                 | 13,078        | 13,341 | -817                    |
| 静止転倒荷重<br>(アーティキュレート時)(ISO)*              | kg | 10,926                 | 10,786        | 11,034 | -780                   | 10,835                 | 10,694        | 10,937 | -750                    |
| 静止転倒荷重(アーティキュレート<br>時)(タイヤたわみなし)*         | kg | 11,624                 | 11,483        | 11,735 | -845                   | 11,535                 | 11,393        | 11,639 | -812                    |
| 掘削力                                       | kN | 152                    | 151           | 165    | -9                     | 146                    | 144           | 158    | -9                      |
| 運転質量*                                     | kg | 18,136                 | 18,244        | 18,087 | 1,137                  | 18,181                 | 18,289        | 18,132 | 1,137                   |

<sup>\*</sup>ここに示した静止転倒荷重と運転質量は、ブリヂストン23.5R25 VJT L3ラジアルタイヤ、油水類満タン、オペレータ乗車、標準カウンタウエイト、Product Link(プロダクトリンク)、手動ディファレンシャルロック/オープンアクスル(フロント/リア)、パワートレインガード、セカンダリステアリング、および騒音低減パッケージを装備した車両仕様構成の場合のものです。

#### \*\*最大值。

(ISO) ISO 14397-1 (2007) 第1~6項に完全適合(計算と試験間に2%検証を義務付け)しています。

(リジッドタイヤ) ISO 14397-1 (2007) 第1~5項に適合しています。

†説明は寸法チャートにあります。

#### 950M Zの運転仕様値(バケット装着時)

| リンケージ  |    | 村                      | 標準リンケージ       |        |                        | 標準リンケージ                |               |        | ハイリフト<br>リンケージ<br>の変更** |
|--|----|------------------------|---------------|--------|------------------------|------------------------|---------------|--------|-------------------------|
| バケットタイプ                                      |    | ゼネラル                   | ハパーパス – し     | ピンオン   |                        | ゼネラルパーパス – フックオン       |               |        |                         |
| エッジタイプ                                       |    | ボルトオン<br>カッティン<br>グエッジ | ツースとセ<br>グメント | チップ    | ボルトオン<br>カッティン<br>グエッジ | ボルトオン<br>カッティン<br>グエッジ | ツースとセ<br>グメント | チップ    | ボルトオン<br>カッティン<br>グエッジ  |
| 容量 – 定格                                      | m³ | 3.40                   | 3.40          | 3.20   | _                      | 3.10                   | 3.10          | 2.90   | _                       |
| 容量 – 110%                                    | m³ | 3.74                   | 3.74          | 3.52   | _                      | 3.41                   | 3.41          | 3.19   |                         |
| 幅  | mm | 2,927                  | 2,994         | 2,994  | _                      | 2,927                  | 2,994         | 2,994  |                         |
| <b>16</b> † ダンピングクリアランス<br>(最大リフトおよび45°ダンプ時) | mm | 2,791                  | 2,672         | 2,672  | 495                    | 2,814                  | 2,697         | 2,697  | 495                     |
| <b>17</b> † ダンピングリーチ<br>(最大リフトおよび45°ダンプ時)    | mm | 1,371                  | 1,481         | 1,481  | 68                     | 1,355                  | 1,467         | 1,467  | 68                      |
| リーチ (リフトアームが水平で<br>バケットが同じ高さにあるとき)           | mm | 2,712                  | 2,873         | 2,873  | 406                    | 2,682                  | 2,843         | 2,843  | 406                     |
| A† 掘削深さ                                      | mm | 89                     | 89            | 59     | 22                     | 97                     | 97            | 67     | 22                      |
| 12† 全長                                       | mm | 8,154                  | 8,328         | 8,328  | 652                    | 8,130                  | 8,304         | 8,304  | 651                     |
| B† 全高(バケット最大リフト時)                            | mm | 5,529                  | 5,529         | 5,529  | 495                    | 5,468                  | 5,468         | 5,468  | 495                     |
| 最小旋回半径<br>(バケットを運搬姿勢にしたとき)                   | mm | 6,702                  | 6,784         | 6,784  | 195                    | 6,693                  | 6,776         | 6,776  | 196                     |
| 静止転倒荷重(直進時)(ISO)*                            | kg | 12,463                 | 12,322        | 12,573 | -720                   | 12,009                 | 11,870        | 12,196 | -735                    |
| 静止転倒荷重(直進時)<br>(たわみなし)*                      | kg | 13,159                 | 13,017        | 13,272 | -793                   | 12,689                 | 12,548        | 12,884 | -804                    |
| 静止転倒荷重<br>(アーティキュレート時) (ISO)*                | kg | 10,776                 | 10,635        | 10,871 | -731                   | 10,340                 | 10,201        | 10,510 | -747                    |
| 静止転倒荷重(アーティキュレート<br>時)(タイヤたわみなし)*            | kg | 11,478                 | 11,335        | 11,574 | <del>-791</del>        | 11,026                 | 10,885        | 11,204 | -804                    |
| 掘削力  | kN | 141                    | 140           | 153    | -8                     | 145                    | 143           | 157    | -9                      |
| 運転質量*  | kg | 18,211                 | 18,319        | 18,162 | 1,137                  | 18,614                 | 18,722        | 18,565 | 1,137                   |

<sup>\*</sup>ここに示した静止転倒荷重と運転質量は、ブリヂストン23.5R25 VJT L3ラジアルタイヤ、油水類満タン、オペレータ乗車、標準カウンタウエイト、Product Link (プロダクトリンク)、手動ディファレンシャルロック/オープンアクスル (フロント/リア)、パワートレインガード、セカンダリステアリング、および騒音低減パッケージを装備した車両仕様構成の場合のものです。

#### \*\*最大值。

(ISO) ISO 14397-1 (2007) 第1~6項に完全適合(計算と試験間に2%検証を義務付け)しています。

(リジッドタイヤ) ISO 14397-1 (2007) 第1~5項に適合しています。

†説明は寸法チャートにあります。

#### 950M Zの運転仕様値(バケット装着時)

| リンケージ/パッケージ                                  |    | 模                      | 悪準リンケーシ          | ÿ      | ハイリフト<br>リンケージ<br>の変更** | 追                      | 加カウンタウエィ               | <b>1</b> h              |                          |                          |
|--|----|------------------------|------------------|--------|-------------------------|------------------------|------------------------|-------------------------|--------------------------|--------------------------|
| バケットタイプ                                      |    | ゼネラル                   | ゼネラルパーパス – フックオン |        | ネラルパーパス – フックオン         |                        |                        | ゼネラルパー<br>パス - ピン<br>オン | ゼネラルパー<br>パス – フック<br>オン | ゼネラルパー<br>パス – フック<br>オン |
| エッジタイプ                                       |    | ボルトオン<br>カッティン<br>グエッジ | ツースとセ<br>グメント    | チップ    | ボルトオン<br>カッティン<br>グエッジ  | ボルトオン<br>カッティング<br>エッジ | ボルトオン<br>カッティング<br>エッジ | ボルトオン<br>カッティング<br>エッジ  |                          |                          |
| 容量 – 定格                                      | m³ | 3.40                   | 3.40             | 3.20   | _                       | 3.40                   | 3.10                   | 3.40                    |                          |                          |
| 容量 – 110%                                    | m³ | 3.74                   | 3.74             | 3.52   | _                       | 3.74                   | 3.41                   | 3.74                    |                          |                          |
| 幅  | mm | 2,927                  | 2,994            | 2,994  | _                       | 2,927                  | 2,927                  | 2,927                   |                          |                          |
| <b>16</b> † ダンピングクリアランス<br>(最大リフトおよび45°ダンプ時) | mm | 2,749                  | 2,630            | 2,630  | 495                     | 2,791                  | 2,814                  | 2,749                   |                          |                          |
| 17† ダンピングリーチ<br>(最大リフトおよび45°ダンプ時)            | mm | 1,407                  | 1,517            | 1,517  | 68                      | 1,371                  | 1,355                  | 1,407                   |                          |                          |
| リーチ(リフトアームが水平でバ<br>ケットが同じ高さにあるとき)            | mm | 2,767                  | 2,928            | 2,928  | 406                     | 2,712                  | 2,682                  | 2,767                   |                          |                          |
| A† 掘削深さ                                      | mm | 97                     | 97               | 67     | 22                      | 89                     | 97                     | 97                      |                          |                          |
| 12† 全長                                       | mm | 8,215                  | 8,389            | 8,389  | 651                     | 8,304                  | 8,280                  | 8,365                   |                          |                          |
| B† 全高(バケット最大リフト時)                            | mm | 5,548                  | 5,548            | 5,548  | 495                     | 5,529                  | 5,468                  | 5,548                   |                          |                          |
| -<br>最小旋回半径<br>(バケットを運搬姿勢にしたとき)              | mm | 6,717                  | 6,800            | 6,800  | 197                     | 6,702                  | 6,693                  | 6,717                   |                          |                          |
| 静止転倒荷重(直進時)(ISO)*                            | kg | 11,858                 | 11,717           | 12,035 | -684                    | 13,547                 | 13,082                 | 12,924                  |                          |                          |
| 静止転倒荷重(直進時)<br>(タイヤたわみなし)*                   | kg | 12,540                 | 12,398           | 12,727 | -747                    | 14,319                 | 13,836                 | 13,682                  |                          |                          |
| 静止転倒荷重<br>(アーティキュレート時)(ISO)*                 | kg | 10,196                 | 10,055           | 10,358 | -702                    | 11,672                 | 11,227                 | 11,078                  |                          |                          |
| 静止転倒荷重(アーティキュレート時)<br>(タイヤたわみなし)*            | kg | 10,885                 | 10,743           | 11,055 | -754                    | 12,454                 | 11,991                 | 11,846                  |                          |                          |
| 掘削力  | kN | 135                    | 134              | 146    | -8                      | 141                    | 145                    | 135                     |                          |                          |
| 運転質量*  | kg | 18,690                 | 18,798           | 18,641 | 1,137                   | 18,710                 | 19,113                 | 19,189                  |                          |                          |

<sup>\*</sup>ここに示した静止転倒荷重と運転質量は、ブリヂストン23.5R25 VJT L3ラジアルタイヤ、油水類満タン、オペレータ乗車、標準カウンタウエイト、Product Link (プロダクトリンク)、手動ディファレンシャルロック/オープンアクスル (フロント/リア)、パワートレインガード、セカンダリステアリング、および騒音低減パッケージを装備した車両仕様構成の場合のものです。

(ISO) ISO 14397-1 (2007) 第1~6項に完全適合(計算と試験間に2%検証を義務付け)しています。

(リジッドタイヤ) ISO 14397-1 (2007) 第1~5項に適合しています。

†説明は寸法チャートにあります。

<sup>\*\*</sup>最大值。

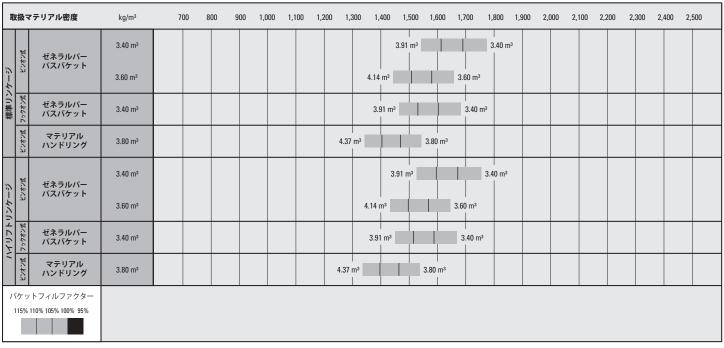
#### 962M Zのバケットフィルファクターとセレクションチャート

バケットのサイズは、材料密度と想定されるフィルファクターに基づいて選択する必要があります。Catパフォーマンスシリーズのバケットでは、長いフロア、広いバケット開口部、拡大された荷の保持角度、丸みをつけたサイドボード、一体型のスピルガードが特長で、従来製品またはCat以外のバケットよりもフィルファクターが大幅に改善されています。そのため、このバケットが実際に積込できる容量は、定格容量を上回ることがあります。

| ルーズマテリアル |          | 取扱マテリアル密度               | フィルファクター(%)* |
|----------|----------|-------------------------|--------------|
| 土/粘土     |          | 1,500∼1,700 kg/m³       | 115          |
| 砂および砂利   |          | 1,500∼1,700 kg/m³       | 115          |
| アグリゲート:  | 25~76 mm | 1,600∼1,700 kg/m³       | 110          |
|          | 19 mm以下  | 1,800 kg/m³             | 105          |
| 岩石:      | 76 mm以上  | 1,600 kg/m <sup>3</sup> | 100          |

<sup>\*</sup>ISO定格容量に対する比率。

注記: 達成できるフィルファクターは、材料が洗浄されているかどうかによっても異なります。



注記: すべてのバケットにボルトオンエッジが付いています。

#### 962M Zの運転仕様値(バケット装着時)

| リンケージ  |    | 標                      | 標準リンケージ       |        | ハイリフト<br>リンケージ<br>の変更** | 標準リンケージ                |               |        | ハイリフト<br>リンケージ<br>の変更** |
|--|----|------------------------|---------------|--------|-------------------------|------------------------|---------------|--------|-------------------------|
| バケットタイプ                                      |    | ゼネラル                   | パーパス – し      | ピンオン   |                         | ゼネラルパーパス – ピンオン        |               |        |                         |
| エッジタイプ                                       |    | ボルトオン<br>カッティン<br>グエッジ | ツースとセ<br>グメント | チップ    | ボルトオン<br>カッティン<br>グエッジ  | ボルトオン<br>カッティン<br>グエッジ | ツースとセ<br>グメント | チップ    | ボルトオン<br>カッティン<br>グエッジ  |
| 容量 – 定格                                      | m³ | 3.40                   | 3.40          | 3.20   | _                       | 3.60                   | 3.60          | 3.40   | _                       |
| 容量 – 110%                                    | m³ | 3.74                   | 3.74          | 3.52   | _                       | 3.96                   | 3.96          | 3.74   | _                       |
| 幅  | mm | 2,927                  | 2,994         | 2,994  | _                       | 2,927                  | 2,994         | 2,994  | _                       |
| <b>16</b> † ダンピングクリアランス<br>(最大リフトおよび45°ダンプ時) | mm | 2,981                  | 2,862         | 2,862  | 305                     | 2,935                  | 2,816         | 2,816  | 305                     |
| <b>17</b> † ダンピングリーチ<br>(最大リフトおよび45°ダンプ時)    | mm | 1,321                  | 1,431         | 1,431  | 118                     | 1,357                  | 1,467         | 1,467  | 118                     |
| リーチ (リフトアームが水平で<br>バケットが同じ高さにあるとき)           | mm | 2,812                  | 2,973         | 2,973  | 306                     | 2,872                  | 3,033         | 3,033  | 306                     |
| A† 掘削深さ                                      | mm | 90                     | 90            | 60     | 21                      | 90                     | 90            | 60     | 21                      |
| 12† 全長                                       | mm | 8,431                  | 8,604         | 8,604  | 485                     | 8,491                  | 8,664         | 8,664  | 485                     |
| B† 全高(バケット最大リフト時)                            | mm | 5,719                  | 5,719         | 5,719  | 305                     | 5,777                  | 5,777         | 5,777  | 306                     |
| 最小旋回半径<br>(バケットを運搬姿勢にしたとき)                   | mm | 6,764                  | 6,848         | 6,848  | 0                       | 6,781                  | 6,866         | 6,866  | 2                       |
| 静止転倒荷重(直進時)(ISO)*                            | kg | 13,550                 | 13,410        | 13,669 | -42                     | 13,430                 | 13,289        | 13,547 | -2                      |
| 静止転倒荷重(直進時)<br>(たわみなし))*                     | kg | 14,301                 | 14,160        | 14,423 | -60                     | 14,183                 | 14,041        | 14,303 | -15                     |
|  | kg | 11,640                 | 11,500        | 11,742 | -132                    | 11,527                 | 11,386        | 11,626 | -97                     |
| 静止転倒荷重 (アーティキュレート時) (タイヤたわみなし)*              | kg | 12,397                 | 12,255        | 12,501 | -136                    | 12,286                 | 12,144        | 12,387 | -96                     |
| 掘削力  | kN | 142                    | 141           | 154    | -9                      | 136                    | 135           | 146    | -9                      |
| 運転質量*  | kg | 19,153                 | 19,261        | 19,104 | 1,071                   | 19,211                 | 19,319        | 19,162 | 1,071                   |

<sup>\*</sup>ここに示した静止転倒荷重と運転質量は、ブリヂストン23.5R25 VJT L3ラジアルタイヤ、油水類満タン、オペレータ乗車、標準カウンタウエイト、Product Link(プロダクトリンク)、手動ディファレンシャルロック/オープンアクスル(フロント/リア)、パワートレインガード、セカンダリステアリング、および騒音低減パッケージを装備した車両仕様構成の場合のものです。

#### \*\*最大值。

(ISO) ISO 14397-1 (2007) 第1~6項に完全適合(計算と試験間に2%検証を義務付け)しています。

(リジッドタイヤ) ISO 14397-1 (2007) 第1~5項に適合しています。

†説明は寸法チャートにあります。

#### 962M Zの運転仕様値(バケット装着時)

| リンケージ  |    | 桐                      | 票準リンケーシ       | ÿ      | ハイリフト<br>リンケージ<br>の変更** | 村                      | 票準リンケーシ       | ÿ      | ハイリフト<br>リンケージ<br>の変更** |
|--|----|------------------------|---------------|--------|-------------------------|------------------------|---------------|--------|-------------------------|
| バケットタイプ                                      |    | ゼネラル                   | パーパス-フ        | ツクオン   |                         | マテリアルハンドリング – ピンオン     |               |        |                         |
| エッジタイプ                                       |    | ボルトオン<br>カッティン<br>グエッジ | ツースとセ<br>グメント | チップ    | ボルトオン<br>カッティン<br>グエッジ  | ボルトオン<br>カッティン<br>グエッジ | ツースとセ<br>グメント | チップ    | ボルトオン<br>カッティン<br>グエッジ  |
| 容量 – 定格                                      | m³ | 3.40                   | 3.40          | 3.20   | _                       | 3.80                   | 3.80          | 3.60   | _                       |
| 容量 – 110%                                    | m³ | 3.74                   | 3.74          | 3.52   | _                       | 4.18                   | 4.18          | 3.96   |                         |
| 幅  | mm | 2,927                  | 2,994         | 2,994  | _                       | 2,927                  | 2,994         | 2,994  |                         |
| <b>16</b> † ダンピングクリアランス<br>(最大リフトおよび45°ダンプ時) | mm | 2,939                  | 2,820         | 2,820  | 305                     | 2,833                  | 2,707         | 2,707  | 305                     |
| <b>17</b> † ダンピングリーチ<br>(最大リフトおよび45°ダンプ時)    | mm | 1,357                  | 1,467         | 1,467  | 118                     | 1,319                  | 1,421         | 1,421  | 118                     |
| リーチ (リフトアームが水平で<br>バケットが同じ高さにあるとき)           | mm | 2,867                  | 3,028         | 3,028  | 306                     | 2,933                  | 3,094         | 3,094  | 306                     |
| A† 掘削深さ                                      | mm | 98                     | 98            | 68     | 21                      | 98                     | 98            | 68     | 21                      |
| 12† 全長                                       | mm | 8,492                  | 8,665         | 8,665  | 484                     | 8,558                  | 8,731         | 8,731  | 484                     |
| B† 全高(バケット最大リフト時)                            | mm | 5,738                  | 5,738         | 5,738  | 305                     | 5,828                  | 5,828         | 5,828  | 305                     |
| 最小旋回半径<br>(バケットを運搬姿勢にしたとき)                   | mm | 6,780                  | 6,866         | 6,866  | 21                      | 6,803                  | 6,888         | 6,888  | 0                       |
| 静止転倒荷重(直進時)(ISO)*                            | kg | 12,933                 | 12,794        | 13,116 | -13                     | 13,202                 | 13,062        | 13,306 | 40                      |
| 静止転倒荷重(直進時)<br>(たわみなし))*                     | kg | 13,670                 | 13,529        | 13,862 | -21                     | 13,944                 | 13,802        | 14,049 | 33                      |
| 静止転倒荷重<br>(アーティキュレート時) (ISO)*                | kg | 11,051                 | 10,911        | 11,217 | -110                    | 11,322                 | 11,181        | 11,409 | -60                     |
| 静止転倒荷重(アーティキュレート<br>時)(タイヤたわみなし)*            | kg | 11,794                 | 11,654        | 11,968 | -105                    | 12,070                 | 11,928        | 12,158 | -53                     |
| 掘削力  | kN | 136                    | 135           | 147    | -9                      | 129                    | 128           | 139    | -8                      |
| 運転質量*  | kg | 19,632                 | 19,740        | 19,583 | 1,071                   | 19,260                 | 19,368        | 19,211 | 1,071                   |

<sup>\*</sup>ここに示した静止転倒荷重と運転質量は、ブリヂストン23.5R25 VJT L3ラジアルタイヤ、油水類満タン、オペレータ乗車、標準カウンタウエイト、Product Link(プロダクトリンク)、手動ディファレンシャルロック/オープンアクスル(フロント/リア)、パワートレインガード、セカンダリステアリング、および騒音低減パッケージを装備した車両仕様構成の場合のものです。

#### \*\*最大值。

(ISO) ISO 14397-1 (2007) 第1~6項に完全適合(計算と試験間に2%検証を義務付け)しています。

(リジッドタイヤ) ISO 14397-1 (2007) 第1~5項に適合しています。

†説明は寸法チャートにあります。

#### 標準装備品

標準装備の内容は異なる場合があります。詳細については、Catディーラにお問い合わせください。

#### 運転席

- ・ROPS/FOPSキャブ(加圧式、騒音抑制)
- ビスカスマウント
- 多機能18 cm (7 in) カラーLCDタッチスクリーンディプレイ(リアビジョンカメラ画像(後進時)、機械のステータス、設定、機械の状態パラメータの表示)
- EHコントロール、SAL(1軸レバー) リフト/チルト機能
- ホイール式ステアリング
- 娯楽用ラジオ装備対応(アンテナ、スピーカ、 コンバータ(12 V、10 A))
- エアコン、ヒータ、デフロスタ (自動温度調整およびファン)
- EHパーキングブレーキ
- ドリンクホルダ2個、携帯電話/MP3プレーヤ用 収納フォルダ
- バケット/ワークツール機能(油圧) ロックアウトスイッチ
- ・コートフック2個
- キャブエアフィルタ
- 人間工学に配慮した設計のキャブ乗降用 ラダーとハンドレール
- ホーン
- ・キャブ車内灯2個
- 車外リアビューミラー(スポットミラー統合)
- ポスト設置メンブレン16スイッチキーパッド
- ソケット2個(12V)
- Cat コンフォートクロスシート (エアサスペンション付き)
- シートベルト (51 mm巻取り式、インジケータ付き)
- ・フロントサンバイザ
- 湿式アームワイパ/ウォッシャ (フロントおよびリア)、間欠フロントワイパ
- ウィンドウ(スライド式、左右)
- ・安全帯固定用ハンドレール

#### コンピュータモニタリングシステム

- 以下のゲージ付き:
- -スピードメータ/タコメータ
- デジタルギヤレンジインジケータ
- 尿素水 (DEF) レベル
- 温度: エンジンクーラント、作動油、トランス ミッションオイル
- -燃料レベル

- ・以下の警告インジケータ付き:
- -再生
- 温度: アクスルオイル、エンジンインテークマニホールド
- 圧力: エンジンオイル、燃料圧力(高/低)、 プライマリステアリングオイル、サービス ブレーキオイル
- バッテリ電圧(高/低)
- エンジンエアフィルタ制限
- 作動油フィルタ制限
- -作動油(低)
- パーキングブレーキ
- 尿素水 (DEF) レベル (低)
- トランスミッションフィルタバイパス

#### 電気系統と照明

- バッテリ2個(メンテナンスフリー、1,400 CCA)
- ・イグニッションキー、始動/停止スイッチ
- ・電動スタータ(ヘビーデューティ)
- 始動および充電システム(24 V)
- ・ 照明システム:
  - ハロゲンライト4個(キャブ搭載)
  - ストップライト、方向指示ライト、テールライト **2**個
  - ハロゲン走行用ライト2個(方向指示器付き)
- ハロゲン後方ライト2個(フードに搭載)
- ・後進警報ブザー
- ブラシ付きオルタネータ (145 A)
- メインディスコネクトスイッチ
- ・始動ソケット(ケーブル別)

#### CATテクノロジ

- Linkテクノロジ: Product Link
- Detectテクノロジ: リアビジョンカメラ

#### パワートレイン

- エンジン(Cat C7.1) 米国EPA Tier 4 Final、EU ステージV、韓国Tier 4 Final、日本オフロード 法2014年基準の各排出ガス基準に適合して います。
- Catクリーンエミッションモジュール (CEM、Clean Emissions Module)、ディーゼ ルパティキュレートフィルタ(DPF、Diesel Particulate Filter) およびリモートディーゼル排 気液 (DEF、Diesel Exhaust Fluid) タンクおよび ポンプ付き
- ・ 電動燃料プライミング
- 燃料/ウォータセパレータ
- エンジンエアインテークプレクリーナ
- ・エコノミーモード(選択可能)
- オートマチックカウンタシャフトパワーシフトトランスミッション(前進5速/後進3速)
- ロックアップクラッチ付トルクコンバータ (フリーホイールステータ装備)
- トランスミッションニュートラライザロックア ウトスイッチ
- アクスル(手動作動式ディファレンシャルロックフロントアクスル、開ディファレンシャルリアアクスル)
- アクスル (エコロジードレーン)

- ブレーキ (油圧式密閉湿式ディスク、集中制御 式ブレーキシステム (IBS、Integrated Braking System) 装備)
- ブレーキ摩耗インジケータ
- パーキングブレーキ(ディスクおよびキャリパ)
- ラジエータファン(電子制御、油圧駆動式、温度検出機能、オンデマンド)

#### リンケージ

- Zバーリンケージ(鋳鋼製クロスチューブ/チルトレバー)
- 自動リフトおよびチルトキックアウト(キャブ 内から調整可能)

#### 油圧システム

- 油圧系統(ロードセンシング)
- ロードセンシングステアリング
- ライドコントロール (2V)
- リモート診断圧力タップ
- Cat XT™ホース
- カップリング(Cat Oリングフェースシール)
- 作動油クーラ(スイングアウト式)
- オイルサンプリングバルブ

#### 油水類

• -34°Cまでの環境で凍結防止性能を有するエクステンデッドライフクーラント混合液

#### その他の標準装備品

- フード(非金属製、パワーチルト)
- サービスセンタ(電気/油圧系統)
- オートアイドリングストップ機能
- フェンダ (マッドフラップおよび エクステンション(リア)付き)
- エコロジードレーン(エンジン、トランスミッション、油圧系統用)
- グリル(空気中の異物)
- フィルタ:燃料、エンジンエア、エンジンオイル、 作動油、トランスミッション
- 燃料クーラ
- グリスライン
- ドローバヒッチ(ピン付き)
- プレクリーナレインキャップ
- サイトゲージ:エンジンクーラント、作動油、トランスミッションオイルレベル
- ツールボックス
- 盗難防止キャップロック

### 950M Z/962M Zのオプション装備品

#### オプション装備品

オプション装備の内容は異なる場合があります。詳細については、Catディーラにお問い合わせください。

#### 運転席

- ドア(リモート開放システム)
- カバー(HVACメタリック)
- ・EHコントロール(SAL第3機能用)
- -追加のローラスイッチ(第4機能用)
- EHコントロール
  - (ジョイスティック リフト/チルト)
- 追加の統合ローラスイッチ (第3および第4機能用)
- ミラー(ヒータ付きリアビュー、 スポットミラー統合)
- プレクリーナ(エアコン)
- ラジオ

(AM/FM/CD/USB/MP3 Bluetooth付き)

- シート(ヒータ付きエアサスペンション)
- シートベルト (76 mm巻取り式、インジケータ付き)
- ステアリング (EHジョイスティック、車速感応式)
- ルーフ(メタリック)
- ステアリング(セカンダリ)
- リアサンバイザ
- ウィンドウ(ラバーマウント)
- ウィンドウ(フロントガード付き)
- ウィンドウ (フロント、リア、サイド全面にガード付き)
- フルタイムリアビジョンディスプレイ作業範 囲ビジョンシステム

(WAVS, Work Area Vision System)

#### 電気系統と照明

- 追加のキャブ取付けハロゲンライト4個または
- ・追加のキャブ取付けLED作業灯4個
- 黄色ストロボ警告回転灯

#### スタータ、バッテリ、オルタネータ

• 寒冷時始動 - 120 V

#### CATテクノロジ

- Linkテクノロジ: VIMS™
- Payloadテクノロジ:
- -アグリゲートオートディグ
- -Cat Production Measurement
- CPMプリンタ (Cat Production Measurement)
- Detectテクノロジ: リアビジョンカメラ専用 ディスプレイ、常時作動
- マシンセキュリティシステム

#### パワートレイン

- ・アクスル
- -オートディファレンシャルロック (フロント/リア)
- アクスルオイルクーラ
- 極端温度対応シール
- -シールガード
- ファン (VPF (Variable Pitch Fan、可変ピッチファン)、自動/手動コントロール)
- ラジエータ(9FPI冷却コア)

#### リンケージ

- ・ハイリフト
- クイックカプラ対応
- 自動給脂

#### ワークツール

- パフォーマンスシリーズバケット
- Fusionクイックカプラ

#### 油圧システム

- 第3機能(ライドコントロール付き)
- -標準リンケージ
- -ハイリフトリンケージ
- ・第4機能(ライドコントロール付き)
- -標準リンケージ
- -ハイリフトリンケージ

#### その他のオプション装備

- フェンダ (ローディング)
- パワートレインガード
- ・プレクリーナ(タービン)
- プレクリーナ(メッシュ付)
- フロントウィンドウアクセスステップ& プラットフォーム
- 寒冷地用パッケージ
- トランスミッションフィルタバイパス
- ファンポンプバイパス
- -ジャケットウォータまたはエンジンブロックヒータ
- エーテル補助装置対応

#### その他のオプション仕様車

• 除雪 (950M Zのみ)





Cat製品、ディーラサービス、および産業ソリューションに関する詳細情報については、Webサイト (www.cat.com)をご覧ください。

© 2021 Caterpillar All rights reserved

記述の内容と仕様は、予告なしに変更されることがあります。写真の機械には、オプション装備品が装着されていることがあります。利用可能なオプションについては、Catディーラにお問い合わせください。

CAT、CATERPILLAR、LET'S DO THE WORK、それらの各ロゴ、Product Link、S·O·S、Fusion、XT、VIMS、"Caterpillar Corporate Yellow"、"Power Edge"およびCat "Modern Hex"のトレードドレスは、ここに記載されている企業および製品と同様に、Caterpillar社の商標であり、許可なく使用することはできません。

VisionLinkはTrimble Navigation Limitedの商標であり、米国およびその他の国で登録されています。

労働安全衛生法に基づき、機体質量3トン未満の建設機械の運転には、事業者が実施する「小型車両系建設機械運転技能特別教育」の修了が必要です。労働安全衛生法に基づき、機体質量3トン以上の「車両系建設機械(整地、運搬、積込、掘削用および解体用)」の運転には、登録教習機関の行う「技能講習」を受講し修了証の取得が必要です。

AJHQ7798-01 (2020年11月) AJHQ7798-00の改訂版 翻訳 (01-2021) (Japan)

